

green news

社会福祉法人グリーン  
年刊紙

Vol.24

# グリーン通信

30周年ありがとう特集号



第4回グリーンフォトコンテスト クラウンプリ写真  
photo by 貴島



# グリーン 30周年 川和ハイツ 20周年

社会福祉法人グリーンはおかげさまで、今年度30周年、川和ハイツは、20周年を迎えることができました。

1993年、グリーンは地域作業所として横浜市青葉区恩田町で産声を上げました。知的障がいのある利用者の方たちが緑の中でのびのびと働きたいと願いをこめて「グリーン」と名づけ、はや30年。

当初は10名ほどだった利用者数も今は56名となり、農業班の利用者の方たちは、施設から徒歩5分の8000㎡の広大な畑で緑に囲まれながら、今も堆肥運びを中心に農作業をしています。堆肥からこだわり、農薬を使わない方法で作った、小麦や、四季折々の野菜はたいへん美味しいと喜ばれています。

2016年には施設も鴨志田へ移転。計画相談事業もはじまりました。新しい施設では、収穫した野菜を中心にドライ加工食品を製造しています。

ドライ加工食品や畑で収穫した野菜、利用者の方が作った手工芸品を地域の皆さまに届けるアンテナショップ「ととり」もOPENしました。仕事の幅も広がり、ドライ加工食品はグリーンを代表する製品として地域の方にも認識されるようになりました。

そして、川和ハイツが設立されて20年。横浜市都筑区にあるグループホームは全部で6棟。33名の利用者の方が、一人ひとりの生活を楽しみながら、日々おだやかに暮らしています。

社会福祉法人グリーンはこれからも地域の方との交流やつながりを大切に、未永く応援してもらえような法人をめざし、利用者の方、保護者の方、職員みんなで手を取り合い、ともにいきていきます。



しゃかいふくしほうじん  
社会福祉法人グリーンのあゆみ



1993年4月  
ちいきさぎょうじょ  
地域作業所グリーン  
設立



2003年10月  
グループホーム  
かわわ 川和ハイツ設立



1999年4月  
だいに 第二グリーン設立



2005年10月  
グループホーム  
かわわ 川和ハイツ第2設立

2007年3月  
しゃかいふくしほうじん  
社会福祉法人グリーン  
となる



2008年10月  
グループホーム  
かわわ 川和ハイツ第3設立



2007年4月  
だいさん 第三グリーン設立



2011年4月  
かわわ ほうしんとうごう  
グリーン・川和ハイツ法人統合



2014年12月  
グループホーム  
かわわ 川和ハイツ第4設立



2016年4月  
そうだんじきょうかいしん  
相談事業開始

2016年4月  
しんきしせつていん  
新規施設移転



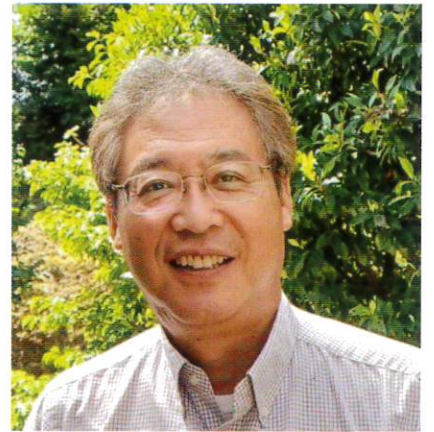
2016年11月  
グループホーム  
ソーナ1, 2設立

2016年5月  
アンテナツップ  
「とうり」OPEN



グリーン30周年に寄せて

# 「出会いとつながり」をさらに求めて



なかにし はるゆき

理事 中西晴之

冒頭に常日頃よりご支援頂いている皆さんに、心より感謝、御礼を申し上げます。鴨志田にサッカー場ほどの広大な農地を提供頂いている7名の地主の皆さん。その調整を担って下さり多様なご支援を頂いている行政機関の皆さん。保護者会、地元自治会、麻生特別支援学校をはじめとした教育機関、横浜北部の福祉関係諸団体の皆さん等々。加えて、有形無形のご支援を頂いている地元、鴨志田町の皆様、いつもありがとうございます。



思い起こせば10名ほどの利用者からスタートしたグリーンは、今や60名近くとなり、運営も作業所から社会福祉法人へ、立派な建物も用意できました。それもこれも皆さんに叱咤激励いただく中で、時を刻んできた賜です。

グリーンは設立以来、「利用者によりそい、ともにいきる」ことを理念としてきました。昼間は農業を軸として様々な野菜、米、麦を、更に食品加工、手芸と、職員は利用者へに肩を押してもらいながら活動のすそ野を広げ、暮らしの場としてのグループホームも運営してきました。そういう意味では、利用者が街で活躍し、仲間役となって様々な方々と出会い、つながってきた30年だったと振り返ります。そしてその理念は、法人にとつての理念からグリーンと地域の皆様との関係の理念へと広がってきたように思います。



人はみな、人の支えを得て成長し、やがては老いて、また、人の支えを得て人生を作つてゆきます。生まれながらまた、幼少期にハンディを持つたグリーンの利用者が街の中で活動することは、福祉とは、特別な人のもではなく「誰もが支えを必要とし誰もが支えられることの担い手」であることを発信しています。

言い換えれば、「弱いも強いも一緒にいる街」、「誰一人排除しない街」の構築にグリーンの利用者の活動は微力ながら貢献しているのではないのでしょうか？  
「出会いとつながり」は、誰にとつても人生を豊かなものにしてくれます。  
わたしたちは今後も支え支えられながら街の中にさらに出会いとつながりを求め、皆さんと共に大好きな横浜青葉区の街をゆつくり、やさしく歩んでゆきます。  
これからも皆様のご厚情とご支援を何卒、よろしく願っています。



今年の夏は天晴れな青空が続き、月の明るさをよく感じました。  
月の満ちる新月から満月の期間は、葉や根、茎が大きくなる栄養成長が最も盛んになり、月の欠ける満月から次の月の新月までの期間は、花が咲いたり、実がなったりする生殖成長が盛んになるそうです。  
夜空を見上げると当たり前のようにある月は、太陽と同じく、私たちの暮らしているところにあります。  
月は、漆黒の闇の中で太陽の光を反射して光り、その反射の仕方によって、見え方が変わります。  
それは私たちも同じなのだと思ってしまうことがあります。



自分ひとりだけでは輝けないし、他者に揉まれたり温められたりされることで形を変えて、一日一日を重ねていきます。  
「それぞれの『その人なりの』輝きは、誰かの力を借りて増し、『その人なりの方法』で暗闇に光を灯すことができると思います。」

グリーンは30周年、川和ハイツは20周年を迎えました。  
これまでのご支援、心から感謝申し上げます。  
月を味方に、月のように、これまでも、これからも、当たり前のように、これからも肯定されることのないように、私たちはともに輝き続けたいと思います。

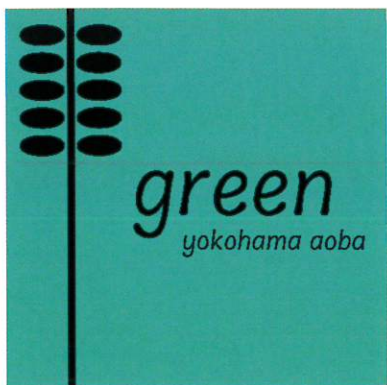
今後皆様の変化らぬご厚情とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



施設長  
かいち くみこ  
開地 久美子

PICK UP

## グリーンのロゴマークが変わりました!



30周年を記念して、グリーンのロゴマークを新しくします。

グリーンの畑で見上げる空と大地の緑の色、作物の芽が大地に根差し、上に上に伸びていきやがて実をつける。

グリーンと地域、職員と利用者、個々ではなく、お互いによりそい歩んでいく、そんな想いを込めました。

今後、グリーンのシンボルマークとしてどんどん発信していきます。

# 活動報告

## 農事業班



のうじぎょうはん

農事業班では、年間を通して野菜作りを中心に活動しています。天候によって大きく作業内容が変わったり、工程表通りになかなか進められない中、利用者さん、職員一丸となって作業に取り組み、おいしい野菜を作ってきました。土づくりから携わってともに育ててきた野菜を、皆さんが美味しく食べている所を見る事が何よりの原動力になります。



「横浜あおば小麦プロジェクト」に参加させていただき早4年。今年もあおばビールが出来ました！

畑以外にも庭木の剪定をする「らくだ」で一般家庭やグループホームを綺麗にしたり、畑の肥料づくりのために馬糞やぬかを取りに行くなど、様々な活動を行っています。



室内活動の幅も広がっています。製造販売班の方とのコラボ作品や、刺し子の布巾を製作し、アンテナショップ【とっとり】で販売。これからも多くの方が作品作りに携われるように、様々な作業の検討もしていきます。



ここで、クイズ！！  
 グリーン通信の各ページに小さな子が隠れているよ！何人いるか探してみてね♪



令和五年度生活介護事業の管理者となりました、千葉です。  
 利用者の方と一緒に働く中で、おいしい野菜を作るのに重要な土壌を作る為の堆肥運びでは、元気な声をだし一生懸命堆肥を運ぶ姿・堆肥山に登る姿、また加工室では白衣・帽子を着こなし袋詰め・野菜を切る細かな作業をしている姿を見て、改めて利用者の方のすごい力を見ることが出来ました。

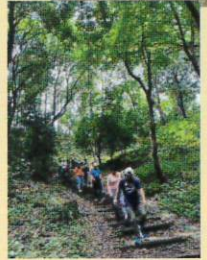
今年度は特に、「利用者の方が仕事・活動の幅を広げる」「利用者の方が働く中で喜び・満足度の向上」「利用者の方が主体となって取り組みたい事・余暇やグリーンでの過ごし方を発信」できるような環境づくりに力を入れていきます。ご協力、応援よろしくお願いたします。



最近のブームは、昼休みの卓球🏓



やすもうの会



夏の暑い日々も毎日仕事お疲れ様！一日くらいのおんびりまったりしましょ！と、「やすもうの会」を開催しました。緑区にある県立四季の森公園を散策し、丘の上の展望台でアイスを食べました。午後はDVD鑑賞。みんな穏やかな笑顔で過ごされてました♪



こんねんど しんじんしょくいん めいくわ しんきいてん ひび  
 今年度は、新人職員が2名加わり、心機一転、日々  
 りようしゃ たいせつ かつどう  
 利用者さんとチームワークを大切に活動していま  
 す！頼もしい利用者さんに助けられながら、ドライ  
 しょうひんづく やさいき のうさぎょう たいそう とくおんじ  
 商品作り、野菜切り、農作業、体操、徳恩寺さんの  
 はながらと せんしゃ ちいきせいそう ひとり あら  
 花柄取り、洗車、地域清掃など、一人ひとりが新た  
 な作業への挑戦もしています。また、アンテナショ  
 ュップ「とうり」では、さ こ ししゅう  
 刺し子や刺繍、イラストなど  
 さくひんづく おこな しょうひん はんばい ちから い  
 の作品作りを行いながら、商品の販売にも力を入  
 れています。今年度も充実した日々を送れるよう、  
 こんねんど じゅうじつ ひび おく  
 丁寧に一步步すすんでいこうと思います。

# 活動報告

製造販売班  
 せいぞうはんばいばん



## 日本ナポリタン学会認定!!



にんきしょうひん よこはま  
 人気商品「横浜ナポリタン」が、な・なんと！  
 にほん がっかい にんてい  
 日本ナポリタン学会に認定されました～。  
 よこはま はっしょう  
 ナポリタンは横浜が発祥だそうです。ナポリタン愛にあふれ、美味  
 つく ひょうか  
 しいナポリタンが作れることが評価のポイント。ますます自信をもつ  
 はんばい しょうひん  
 て販売できる商品となりました！  
 しょうみ  
 ぜひご賞味ください♡





# ぎょう 行 じ 事 ほう 報 告



らくのうおうこく 酪農王国オラッチェ

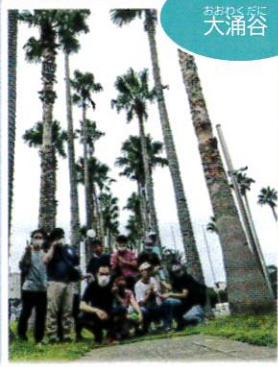


ちきゅう 大涌谷

## ほうじんりょこう 法人旅行

2022年9月8日～9日

3年ぶりとなったほうじんりょこうは、いっばくふつがで箱根に行きました。しゅうじ、利用者のみなさんのたのしそうなえがあと笑い声が溢れる旅行となりました。



よる 夜の宴会

## せいじん いわ 成人のお祝い

2023年1月

ふたりの新成人と保護者をお招きして皆でお祝いしました。コロナ禍で制限はありましたが、美味しいご飯やお祝いの言葉、サプライズで祝福しました。



# 新人職員に聞いてみました



仙石 宥乃 (グリーン)

- 1 たこ焼き
- 2 友達と足湯めぐり
- 3 低めのテーブル
- 4 コアラ

- 1 ようかん
- 2 カラオケ、ライブ
- 3 マキタの掃除機
- 4 ゾウ



前田 里菜 (グリーン)

- 1 ハンバーグ
- 2 韓ドラ鑑賞
- 3 オカメインコ
- 4 ネコ (3種類の動物タイプ診断で全て「ネコ」と出ました)



梅本 くるみ (グリーン)

- 1 柿の種・チーズ
- 2 ミシンで物作り
- 3 ロックミシン
- 4 きりん



~♪  
~♪



- 1 蕎麦
- 2 映画鑑賞、
- バッティングセンター
- 3 ライトセーバー
- 4 猫



和田 隆 (グリーン)

- 1 プリン! オムライス!
- ラーメン!!
- 2 歌を唄うこと
- 3 自動車免許
- 4 フナムシ



林 瑞穂 (計画相談)



中川 白和 (川和ハイツ)

- 1 お米
- 2 映画鑑賞
- 3 物欲が無く満足しています(お米?)
- 4 ひよこ

- 1 好きな食べもの
- 2 趣味
- 3 いま一番欲しいもの
- 4 自分を動物に例えると

クイズの答え; 9人(みつけられましたか?)

ご支援・ご協力ありがとうございます

グリーン後援会 会長 飯田 清一

グリーンは、永年にわたる皆様のご支援・ご尽力をいただき、設立30周年を迎えました。昨年度は、皆様からのご支援の一部で、草刈機及び防災用品を拡充することができました。次の10年、グリーンのさらなる発展を期待し、一層のご支援・ご協力をお願いします。また、地域の皆様の後援会入会を歓迎いたします。



*Green 30th Anniversary Thank you.*

発行元 社会福祉法人グリーン 後援会  
〒227-0033 横浜市青葉区鴨志田町335-1  
電話番号 045-961-0305  
第24号 令和5年9月発行

